

日本メコン地域経済委員会 訪カンボジア・ベトナム経済ミッション

概要報告

日本メコン地域経済委員会
2024年2月15日

1. 日程:2024年2月1日(木)~2月5日(月)
2. 訪問先:カンボジア(プノンペン、シエムリアップ)、ベトナム(ハノイ)
3. 参加者:鈴木善久・日本メコン地域経済委員会委員長(伊藤忠商事株式会社 専務理事)

柿原アツ子・日本メコン地域経済委員会共同委員長

(川崎重工業株式会社 執行役員マーケティング渉外本部長)はじめ18名

4. 概要

昨年は、日本・カンボジア外交関係樹立70周年、日本・ベトナム外交関係樹立50周年の節目にあたり、コロナ禍の収束とともに、日本と両国との活発な往来が再開した。日本メコン地域経済委員会では、高水準かつ安定的な経済成長を遂げる両国との一層の経済連携促進に向け、経済ミッションを派遣。カンボジア訪問は2016年10月以来約7年ぶり、ベトナムは昨年が続いての訪問となった。

主な行事として、カンボジア・プノンペンでは、昨年7月に就任したフン・マネット首相への表敬訪問をはじめ、植野大使、現地経済団体であるオクニャー協会、およびカンボジア商工会議所、カンボジア日本人商工会との懇談機会を設け、現地事情を直接伺ったほか、経済特区に進出している日系企業を訪問した。

また、シエムリアップでは、州政府幹部との懇談や、スマートシティプロジェクトおよび新空港周辺開発地域の視察のほか、観光資源として名高いアンコールワットを訪問した。

ベトナム・ハノイにおいては、山田大使、ベトナム日本商工会議所との懇談機会を設けるとともに、投資環境および工業団地への進出状況にかかるヒアリング、オフショア開発の受注に成功している現地企業への訪問等を行った。



フン・マネット首相(前列中央)を囲むミッション団員

5. 主な活動の概要

① フン・マネット首相への表敬訪問 (2/1 プノンペン)



フン・マネット首相表敬

訪問初日、フン・マネット首相への表敬訪問を行った。日本側は、植野大使のご同行を賜り全団員が表敬に参加し、カンボジア側は、首相ほか、ヘン・スアー労働職業訓練大臣、キット・メン カンボジア商工会議所会頭ほか政財界首脳が出席した。

冒頭、フン・マネット首相からの歓迎の言葉に続き、鈴木委員長より、カンボジアからの訪日団受入れや、ASEAN 首脳歓迎昼食会の開催など、当委員会および日本商工会議所の活動および組織概要を説明するとともに、今回のミッションを通じて、両国の相互発展に資する分野への理解の深め、参加企業の新たなビジネスチャンスの創造につなげていくと述べた。



フン・マネット首相

続いて、委員長、共同委員長より各社のカンボジアにおける事業展開について説明がなされ、結びに、日系企業への継続的な支援とともに 2025 年関西・大阪万博への来場について要請がなされた。

フン・マネット首相は、岸田首相との首脳会談会議の成果や、物流、デジタルテクノロジー、人材育成、農業分野等の取り組みに触れ、カンボジアが進出企業のニーズに合わせ臨機応変に対応する国であること、そのために民間セクターとの懇談機会をもつことが重要である点を強調した。また、日本企業に特化した経済特区を設置予定であり、政府として、日本企業が直面する課題の解決、中小企業の進出しやすい環境づくりに取り組むと述べた。

(フン・マネット首相表敬写真出所:カンボジア首相府)

② 懇談会

植野篤志駐カンボジア大使、山田滝雄駐ベトナム大使や、カンボジア日本人商工会、およびベトナム日本商工会議所、視察先企業等との懇談機会を通じ、現地情勢やビジネス事情、文化・風習等の現地情報を伺った。また、シェムリアップ州知事はじめ同州関係者、オクニャー協会やカンボジア商工会議所といった現地経済団体との交流機会を設けた。



植野大使(後列右中央)



ソポアン州知事(前列右から6人目)



山田大使(前列右から2人目)

③ 産業視察

- ◆ イオンモール・ミエンチェイ (2/1 プノンペン)
ASEAN 内のイオンモールの中でも最大規模を誇る、カンボジアのイオンモール3号店を視察。
- ◆ プノンペン経済特区(味の素、DENSO) (2/2)
カンボジアの財閥大手ロイヤルグループ傘下のプノンペン経済特区を視察。
工業団地の概況および入居する味の素、DENSO よりカンボジアにおける事業展開を説明。
- ◆ Wing Bank (2/2)
銀行口座保有率の低いカンボジアにおいて、同社が取り組む携帯電話での電子送金・決済サービスについて説明。
- ◆ シェムリアップ・スマートシティプロジェクト (2/3 シェムリアップ)
オーバーツーリズムなどの都市課題解決に向けた日本政府によるスマートシティの技術協力について、JICA より説明。
- ◆ 新空港周辺エリア(2/4 シェムリアップ)
開発が進むシェムリアップ Run Ta Ek Techo Sen City 開発地域および Teuk Chob Khnar Po Community 開発地域を視察。
- ◆ Sufex Trading (2/5 ハノイ)
日系企業向け工業団地代理店業務等を行う同社より、ベトナム国内の投資環境および工業団地の概況等について説明。
- ◆ Rikkeisoft (2/5 ハノイ)
金融、製造、小売、物流等、幅広い業種における日系企業向けオフショア開発に特化した同社より、事業展開および IT 人材開発の取り組みについて説明。



イオンモール



プノンペン経済特区



シェムリアップ開発地域

④ 市内視察

- ◆ プノンペン市内(中央市場等) (2/3 プノンペン)
- ◆ アンコールワット遺跡 (2/4 シェムリアップ)

以上